

低リグニンアルファルファの隔離ほ場栽培

(栽培実験期間：平成24～25年度)

確認項目	確認結果
交雑防止措置について	○交雑防止措置について 委託を受けて実施した本栽培実験は、(独)農研機構畜産草地研究所(畜草研)の隔離ほ場において隔離距離によらない交雑防止措置として開花期に防虫網(1mmメッシュ)の設置を行ったことを確認しました。
	○選定場所における風の影響について 防虫網を設置するため、本項目の対象ではありませんが、隔離ほ場の周辺に防風林を設置していることを確認しています。
	○開花前の低温により交雑の可能性が想定される場合の措置について アルファルファは、本項目の対象ではありません。
	○モニタリング措置について 第一種使用規程(平成24年9月4日承認)では、委託元にモニタリングの実施が義務付けられていますが、問題が生じたとの報告はありません。
混入・拡散防止措置について	○実験の種子、種苗の分別管理、野鳥等の食害による拡散防止について 実験の種子については、密閉容器に入れ、他の種子と区分して管理を行っていることを確認しました。また、育苗は温室にて拡散防止措置をとって行い、隔離ほ場では開花前から収穫後まで防虫網(防鳥網兼用)を設置して、野鳥等の食害による拡散を防止したことを確認しました。
	○栽培実験に用いた機械施設等の洗浄等について 栽培実験区画内にて使用した機械等は同区画内で払い落としした後、隔離ほ場内の洗い場で洗浄したこと、被服等は栽培実験区画近くで払い落としを行ったことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物の収穫物の管理等について 収穫物については、密閉容器に入れ、他の収穫物と区分して実験室内で保管・管理を行っていることを確認しました。
	○栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物等の処理等について 試料採取後の植物体は一株ずつ抜き取り、オートクレーブにより不活化したことを確認しました。
	○第1種使用規程承認作物を栽培した区画での後作の収穫物の取り扱いについて 平成25年度に、隔離ほ場の土壌を採取してポット栽培による後作を行いました。適切に処理したことを確認しました。
栽培実験に係る情報提供について	○計画書の公表について 計画書について、平成24年10月1日にプレスリリースにより公表したことを確認しました。また、同日に畜草研のホームページに掲載されたことを確認しました。
	○説明会の開催等について 説明会を平成24年10月30日に開催し、10名が参加したことを確認しました。
	○栽培実験の経過に関する情報提供について 説明会の開催を含め、本栽培実験の経過について、7件の情報が畜草研のホームページに掲載されたことを確認しました。
	○栽培実験を終了した後の情報提供について 本栽培実験における収穫後の処理等について、平成26年2月21日に畜草研のホームページに掲載されたことを確認しました。また、本栽培実験の結果について、平成26年5月8日に開催した説明会において説明したことを確認しました。
栽培実験に係る管理体制の整備について	○栽培実験に係る管理体制の整備について 畜草研において栽培実験責任者、作業管理主任者、情報提供主任者を指名しているほか、委託元と共同で管理体制を整備していることを確認しました。

(参考)独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所隔離ほ場における栽培実験に係る情報提供について

「第1種使用規程承認組換え作物栽培実験指針」では、栽培実験の開始前から終了に至るまで、適宜情報提供することを定めています。

低リグニンアルファルファの平成24年度から平成25年度の栽培実験に係る上記の情報は、(独)農研機構畜産草地研究所のホームページ掲載されており、以下のURLからご覧になれます。

○栽培実験の状況(平成24年度)

[http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/gmo\\_nasu/experimentation/044542.html](http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/gmo_nasu/experimentation/044542.html)

○栽培実験の状況(平成25年度)

[http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/gmo\\_nasu/experimentation/046832.html](http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/gmo_nasu/experimentation/046832.html)

以下に、掲載されている情報の一部をご紹介します。



栽培実験区画の様子  
(平成25年5月10日)  
※防虫網設置後



低リグニンアルファルファの様子  
(平成25年8月20日)